

安全・便利で快適な取手駅を

バリアフリーな優しい駅に

日本共産党

補助金支出を決めた 千代田線にエレベーター設置

工事費	8億5,000万円
内・市補助金	2億8,300万円



平日の日中・土休日は、電車が来ない閑散とする千代田線

千代田線にエレベーター設置

2億8,300万円 取手市が補助

6月取手市議会は、取手駅千代田線ホームへのエレベーター設置工事費補助金2億8千300万円（設置費の1/3、3か年継続事業）の予算を可決しました。

駅利用者をはじめ市民は、これまで東口構内のバリアフリー化を求め議会請願、直接、JRへの要望を繰り返してきました。

便利に使えるエレベーターがほしい

“法基準に満たない「バリアフリー未完成駅」と国土交通省からも改善が求められてきました。やっと動いたエレベーター設置事業は、利便性より安上がり優先で千代田線ホームに。

利用者からは「平日の朝夕しか電車が動かないホームになぜ?」「何の為に補助金か?」「利用者の多い3・4番、5・6番ホームに設置を」と批判の声が広がっています。

乗客への配慮ない…

JR

2017年にJRと取手市が公表した『東口構内バリアフリー整備4案』の中で、最も安上がりなのが、今回の千代田線へのエレベーター設置です。

JRは、東口改札を無人化し、今年千代田線の土休日の運転を中止。乗降客の多い常磐線より千代田線ホーム優先でエレベーターを設置する、利用者無視のJRの公共交通機関としての役割が問われます。

日本共産党は

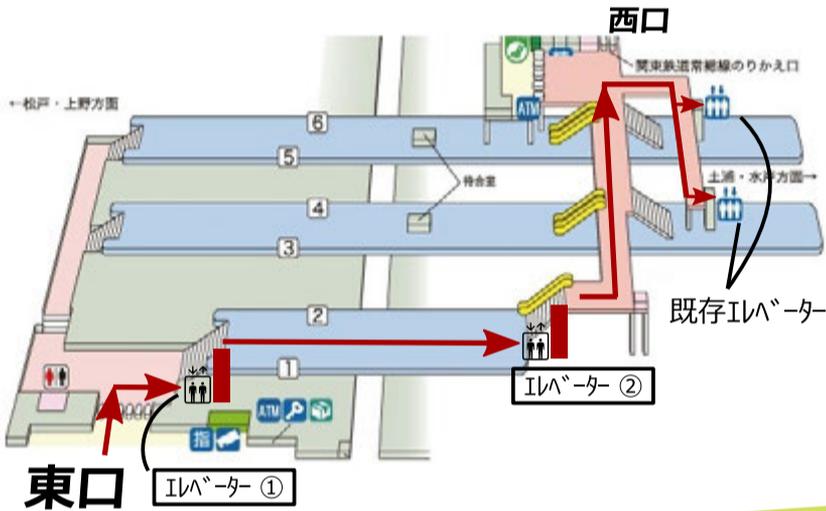
みなさんと力を合わせ、安全で
便利なエレベーター設置・バリア
フリー整備を求め、引き続き全力
をつくします。



市議会議員 加増みつ子



小池えつ子



2017年、取手市とJRは、
全ホームにエレベーター設置
案も示していました。

全ホームに エレベーター設置

概算工事費	16億1,200万円
内・市補助金	5億3,700万円



千代田線
ホームへの階段

